草の根活動
交流NEWS

第　６１７　号
2012年１２月７日
会員154万6350人

消費税をなくす全国の会事務局
〒114-0023 東京都北区滝野川 3-3-1-201
電話　０３－３９４０－０４０１

1人から2人、2人から4人と対話をひろげ 消費税増税中止の国会をつくるチャンス

消費税増税を許すか、中止させるか、あと10日間のたたかい。「増税による負担は17万円。私たちの声が届く国会をつくり、増税中止法案を可決するならば、中止できます」。このことを訴えると「年金が下げられ、医療費や介護保険料も上がって大変。そのうえ消費税を上げるなんて」と怒りの対話となります。「消費税上げるの決まっちゃったんでしょう」という方とも、「増税中止の議員が多数になればやめさせることができます」と対話がはずみます。くらし・憲法と平和・安全をまもるのはどの政党かを１人、２人、３人と広く知らせていきましょう。

12月5日官邸前で「困っちゃう人々の会」
消費税増税中止・生活保護を守れと唱和

増税中止へ－請願署名・入会署名次々

◆青森の会－署名200筆届く

このたび青森保健生活協同組合から第一次分として「増税中止を求める」請願署名200筆が届きました。10月に開かれた社保学校で青森市の会佐々木政勝代表世話人が「消費税増税のねらい」の講師をつとめ、請願署名の訴えをしていたものです。

◆兵庫の会－404人の入会署名

11月鈴蘭台、妙法寺、尼崎、三田、垂水、宝殿、高砂の駅で増税中止の宣伝と署名を行ないました。灘の会の貫名初子さんから20人、住吉の会から50人の入会署名が届き、合計404人となりました。なお垂水駅の宣伝では、S宗教団体の男性が署名板を踏みつけ、別の女性は「可決したのに何やってんのや」と署名板を叩く等妨害がありました。

◆北海道・幕別の会－4月から毎月のスーパー前署名300筆が全国の会に届きました。2003年からの合計3947筆になります。

一口宣伝

●景気の回復には、家計を温めて、国内の購買力を拡大すること

景気に冷水の消費税増税は中止し、大企業の内部留保260兆円の１部を労働者の賃上げや中小企業に還元することで国内需要が拡大します。経済成長で税収も増え、財政再建にもつながります。大企業が海外に行くのは、そこに需要があるためで、法人税が高いからではありません。

100円パンフ３ ～4P、11～12P参照

●法律は可決されましたが力を合わせれば消費税増税は中止できます

増税中止の議員が国会で多数になれば、消費税中止法案を可決することができます。これまでも世論と運動を高めて、1989年には参院で消費税廃止法が可決されました。

パンフ20～21P、新チラシ参照

●税金も社会保険料も富裕層・大企業など負担能力に応じて払う応能負担が原則です

「財源はどうするの？」－しばしば質問を受けます。富裕層への課税強化はヨーロッパやアメリカの流れになっています。

パンフ19、4、16P、新チラシを参考にして対話をすすめましょう。